

講義コード	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	社会経済入門					通年
履修前提条件					備考	
授業の目的	前半では、現代社会（現代資本主義）の仕組みについてマルクス経済学の視角から入門的に学び、後半では、マルクス経済学の理論について入門的に学ぶ。当科目は、2年次以降に配置される「経済学原理」「社会経済学」「景気循環論」等の基礎科目と位置づけられる。					
到達目標	①資本主義経済とその基本的な構成要素について理論的に説明できるようになる ②現代資本主義において生じている問題や課題を見出すことができ、これをマルクス経済学の初歩的な概念を使って説明したり論じたりできるようになる ③これからの社会のあり方に関心を持ち、自分なりの考えを説明できるようになる					
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業前1週間の社会の動きについて新聞を読み、授業前には必ず授業で習う箇所のテキストや関連図書を読むなど、120時間以上の授業外学修を行うこと。					
授業計画	【第1回】人間とは何か、私たちは何者か 【第2回】社会システムとしての資本主義 【第3回】経済発展の仕組み 【第4回】価格はどうか決まるか 【第5回】所得はどのように生まれるか 【第6回】創世記の資本主義 【第7回】確立した資本主義 【第8回】成熟し腐朽化する資本主義 【第9回】現代資本主義 【第10回】日本資本主義の復活 【第11回】高度成長の光と陰 【第12回】高度成長の終焉 【第13回】バブル経済と長期停滞 【第14回】今日の日本経済 【第15回】これからの社会を考える		【第16回】はじめに 【第17回】社会発展における労働の役割 【第18回】社会発展の諸段階 【第19回】商品の価値と使用価値 【第20回】貨幣と商品の価格 【第21回】貨幣の諸機能 【第22回】剰余価値の生産（1） 【第23回】剰余価値の生産（2） 【第24回】資本主義的生産様式の諸段階と現段階（1） 【第25回】資本主義的生産様式の諸段階と現段階（2） 【第26回】労働力の価値と賃金 【第27回】資本の蓄積過程と雇用・失業問題 【第28回】利潤と利潤率、競争と利潤率の均等化 【第29回】信用制度と金融資本 【第30回】恐慌と景気循環			
成績評価の方法	中間試験（50%）、期末試験（50%）					
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックを翌週の授業で行う。					
教科書	『経済と社会』長島誠一（桜井書店）2004年、『改定新版 現代社会経済学』北村洋基（桜井書店）2013年					
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	授業で用いるスライド資料は、共有ストレージなどに掲載されます。受講者は各自授業前にプリントして、持参してください。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内でも対応します。					
その他						